

## マイクロハイファイ コンポーネントシステム

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



## 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



### 安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。

#### 定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードセットに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

#### 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードセットなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

#### 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る。
- ② 電源プラグをコンセントから抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談を依頼する。

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電



指のケガに  
注意

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



指示



プラグを  
コンセントから  
抜く

---

# 目次

 警告 安全のために.....	2
各部の名前と働き.....	12
本機の楽しみかた.....	18

---

## 準備

接続する .....	19
リモコンに電池を入れる .....	20
保護クッションを取り付ける.....	21
iPod/iPhone/iPadを本機に接続する .....	21
時計を合わせる.....	22
オートスタンバイ機能について .....	23

---

## CDを聞く

CD/MP3ディスクを再生する .....	24
好きな順に曲を聞く(プログラム再生) .....	27

---

## iPod/iPhone/iPadの曲を聞く

iPod/iPhone/iPadの曲を再生する.....	29
対応iPod/iPhone/iPadモデル .....	29
iPod/iPhone/iPadを充電する .....	31

---

## Bluetooth接続で聞く

Bluetooth接続を準備する(CMT-V70BiPのみ).....	32
ペアリングする.....	33
Bluetooth接続で音楽を聞く .....	34

---

## その他の操作と設定

ラジオを聞く.....	37
-------------	----

ラジオ局を受信する .....	37
ラジオ局を登録する .....	38
外部機器を接続して聞く .....	38
音質を調整する.....	39
表示窓の表示を切り換える .....	39
タイマーを使う.....	40
スリープタイマーを設定する.....	40
再生タイマーを設定する .....	41
操作音をオン／オフする .....	43

---

## 使用上のご注意・主な仕様

使用上のご注意.....	44
Bluetooth無線技術について(CMT-V70BiPのみ).....	46
Bluetooth機器について.....	47
故障かな?と思ったら.....	48
メッセージ一覧.....	52
保証書とアフターサービス.....	53
主な仕様 .....	54



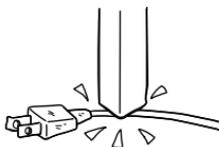
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

### 電源コードセットを傷つけない

電源コードセットを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードセットを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードセットを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードセットが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



禁止

### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。



禁止

### 内部に水や異物が入らないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。

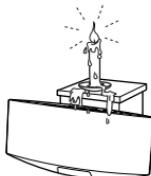
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



禁止

### 本機の上にローソクを置かない

本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。火災の原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

### キャビネットを開けたり、 分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。  
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ  
ニーの相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

### 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や 電源プラグに触れない

本機やアンテナ線、電源プラグなどに触れると  
感電の原因となります。



接触禁止

### 本機を日本国外で使わない

交流100Vの電源でお使いください。海外など、  
異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感  
電の原因となります。



指示

### 可燃ガスエアゾールやスプレーを 使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使  
用すると、モーターやスイッチの接点、静電気  
などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や  
火災が発生するおそれがあります。



禁止

### 付属のACアダプターについて

付属のACアダプターは本機専用です。他の電  
気機器では使用できません。また、他の電気機  
器のACアダプターも使用できません。



禁止

### ガス管にアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

### ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

### 風通しの悪い所に置かない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

### 付属の電源コードセットについて

付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。



禁止

### 幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようご注意ください。



指のケガに  
注意

### 大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときにご注意ください。

呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

### はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。



禁止

### 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も充分に確認してください。



禁止

### 電源プラグは抜き差ししやすい コンセントに接続する

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。

通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。



指示

### コード類は正しく配置する

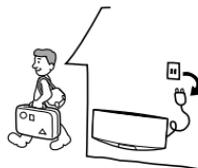
本機に取り付ける電源コードセットやAVケーブルは、足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。



禁止

### 長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

## お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをする  
と、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

### 電池についての 安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による  
大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ず  
お守りください。

## ⚠ 危険

### 電池の液が漏れたときは

#### 素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、  
失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあり  
ます。液の化学変化により、数時間たってか  
ら症状が現れることもあります。



接触禁止

#### 必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐ  
に水道水などのきれいな水で充分洗い、ただ  
ちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれ  
いな水で充分洗い流してください。皮膚の炎  
症やけがの症状があるときは、医師に相談し  
てください。



指示

# 警告

## 電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。



禁止

## 電池を火の中に入れてない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

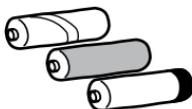
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

## 指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

## ＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆にすると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



指示

## 使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



指示

## ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞かせください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

## DualDiscについてのご注意

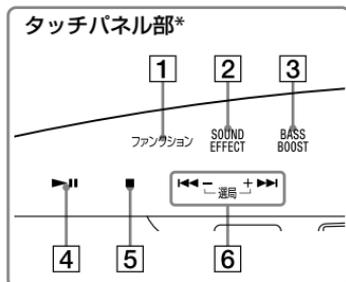
DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

## 商標について

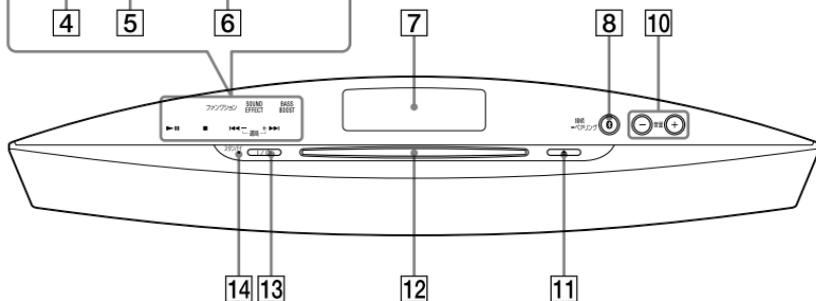
- iPad、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC. の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

# 各部の名前と働き

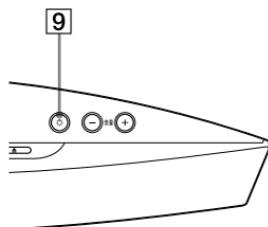
## 本体(上面)(CMT-V70BiP)



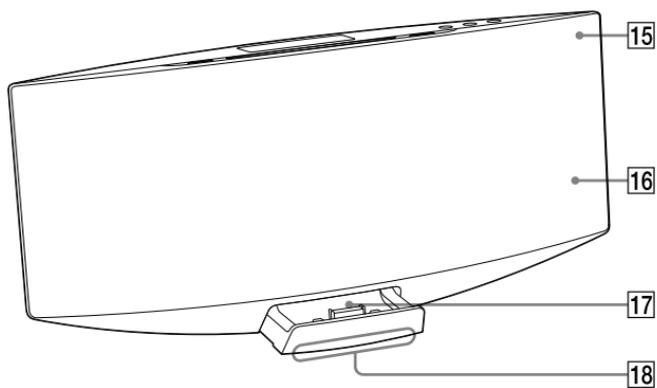
\* お買い上げ時はタッチパネルを操作すると操作音が鳴るように設定されています。タッチパネルの操作音は鳴らないように設定することもできます(43ページ)。



## 本体(上面)(CMT-V50iP)

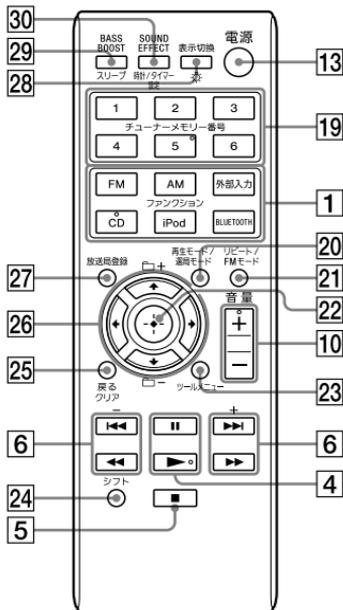


## 本体(前面)

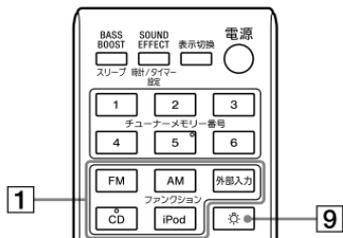


# リモコン

## CMT-V70BiP (RM-AMU158)



## CMT-V50iP (RM-AMU157)



- 本書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じ名前での本体のボタンは、同じ動きをします。
- リモコンにピンク色で表示されている機能进行操作する場合は、シフトボタン<sup>25</sup>を押しながら該当のボタンを押してください。ピンク色で表示されている機能が働きます。シフトボタン<sup>25</sup>を押さずに該当のボタンを押したときは、白色で表示されている機能が働きます。

### ① ファンクションボタン

#### 本体：ファンクションボタン

ボタンを押すたびにCD→iPod→BLUETOOTH<sup>1</sup>→FM→AM→AUDIO INの順にファンクションが切り換わります。

#### リモコン：FM、AM、外部入力、CD、iPod、BLUETOOTH<sup>1</sup>ボタン

切り換えたいファンクションのボタンを押します。

### ② SOUND EFFECT (サウンドエフェクト)ボタン

ボタンを繰り返し押して、お好みのサウンド効果を設定します(39ページ)。

### ③ BASS BOOST (バスブースト)ボタン

バスブースト(低音増強)を「オン」または「オフ」に設定します(39ページ)。

### ④ 再生／一時停止ボタン

#### 本体：▶▶ ボタン

#### リモコン：▶、|| ボタン

CDやMP3ディスク、iPod/iPhone/iPad、Bluetooth接続<sup>1</sup>した曲を再生／一時停止します。

### ⑤ ■ (停止)ボタン

CDやMP3ディスク、iPod/iPhone/iPad、Bluetooth接続<sup>1</sup>した曲を停止します。

<sup>1</sup> CMT-V70BiPのみ

<sup>2</sup> CMT-V50iPのみ

**⑥ ラジオ選局／曲操作ボタン**

本体：選局+/-、◀◀/▶▶ ボタン

- 選局+/-ボタン  
聞きたいラジオ局の周波数や、登録したラジオ局のプリセット番号を選びます。

- ◀◀/▶▶ ボタン  
曲の頭出しをします。押している間、曲の早戻しや早送りをします。

リモコン：+/-、◀◀/▶▶、◀◀/▶▶ ボタン

- +/-ボタン  
聞きたいラジオ局の周波数や、登録したラジオ局のプリセット番号を選びます。
- ◀◀/▶▶ ボタン  
曲の頭だしをします。
- ◀◀/▶▶ ボタン  
曲の早戻しや早送りをします。

**⑦ 表示窓**

本機の設定状態などを表示します。

**⑧ Bluetooth ボタン<sup>\*1</sup>**

Bluetooth機器と接続／切断、ペアリングするときに使います(33、34、36ページ)。

**⑨ 点灯(イルミネーション)ボタン<sup>\*2</sup>**

iPodドックランプの点灯を入／切します。

**⑩ 音量+/-ボタン**

音量を調節します。

**⑪ 出 (イジェクト)ボタン**

CD、MP3ディスクを取り出します(24、25ページ)。

**⑫ ディスクスロット**

CD、MP3ディスクの挿入口です(24、25ページ)。

**⑬ I/O (電源)ボタン**

本機の電源を入／切します。

**⑭ スタンバイランプ**

本機の電源の状態をランプでお知らせします。詳しくは、「ファンクションランプ/スタンバイランプについて」(17ページ)をご覧ください。

**⑮ ファンクションランプ**

現在のファンクションをランプの色でお知らせします。詳しくは、「ファンクションランプ/スタンバイランプについて」(17ページ)をご覧ください。

**⑯ リモコン受光部****⑰ iPodコネクター**

iPod/iPhone/iPadを接続します(21、22、30、31ページ)。

**⑱ iPodドックランプ**

本機の状態や、リモコンからの信号受信をランプでお知らせします。CMT-V70BiPiは青色、CMT-V50iPiは白色のランプでお知らせします。

- 本機の電源を入れると、青色(白色)に少しずつ明るく点灯します。
- 本機の電源を切ると、少しずつ暗くなり消灯します。
- リモコンからの信号を受信すると青色(白色)に点滅します。

## 19 チューナーメモリー番号ボタン

本機に登録したプリセット番号1から6のラジオ局を呼び出します(38ページ)。

## 20 再生モード/選局モードボタン

- 再生モードボタン  
CD、MP3ディスクの再生モードを選択します(25、27、28ページ)。
- 選局モードボタン  
ラジオ局の選局モードを切り換えます。ボタンを押すたびに「AUTO」→「PRESET」→「MANUAL」の順に切り換わります(37、38ページ)。

## 21 リピート/FMモードボタン

- リピートボタン  
曲を繰り返し聞くとときに使います(25ページ)。
- FMモードボタン  
FM放送のステレオ受信、モノラル受信を切り換えます(37ページ)。

## 22 ⊕ (決定)ボタン

操作や設定を確定します。

## 23 ツールメニューボタン

Bluetoothスタンバイモードを設定/解除するときに使います(36ページ)<sup>\*1</sup>。  
本機がiPodファンクションのときは、iPodのメニューボタンと同じ動作をします(31ページ)。

## 24 シフトボタン

リモコン上に、ピンク色で表示されているボタン名の機能を有効にします。  
シフトボタン24を押しながらピンク色で表示されているボタンを押すと、ピンク色の機能が有効になります。

## 25 戻る/クリアボタン

- 戻るボタン  
操作前の状態に戻します。  
本機がiPodファンクションのときは、iPodのメニューボタンと同じ動作をします(31ページ)。
- クリアボタン  
プログラムした曲をプログラムから消します(28、34ページ)。  
シフトボタン24を押しながらクリアボタン25を押してください。

## 26 操作ボタン

- ↑/↓/←/→ボタン  
項目を選択したり、設定を変更します。
- 📁 +/-ボタン  
MP3ディスクのフォルダ(アルバム)を選択します。

## 27 放送局登録ボタン

ラジオ局をプリセット登録します(38ページ)。

## 28 表示切換/☀ (イルミネーション)<sup>\*1</sup> ボタン

- 表示切換ボタン  
表示窓に表示される内容を切り換えます(23、36、39ページ)。
- ☀ (イルミネーション)<sup>\*1</sup> ボタン  
iPodドックランプの点灯を入/切します。  
シフトボタン24を押しながら☀ボタン28を押してください。

<sup>\*1</sup> CMT-V70BiPのみ

<sup>\*2</sup> CMT-V50iPのみ

**29 BASS BOOST /スリープボタン**

- BASS BOOST (バスブースト)ボタン  
バスブースト(低音増強)を「オン」または「オフ」に設定します(39ページ)。
- スリープボタン  
スリープタイマーを設定します。  
シフトボタン**24**を押しながらスリープボタン**29**を押してください(41ページ)。

**30 SOUND EFFECT /時計/タイマー設定ボタン**

- SOUND EFFECT (サウンドエフェクト)ボタン  
ボタンを繰り返し押し、お好みのサウンド効果を設定します(39ページ)。
- 時計/タイマー設定ボタン  
時計や再生タイマーを設定します。  
シフトボタン**24**を押しながら時計/タイマー設定ボタン**30**を押してください(22、41、42ページ)。

**ファンクションランプ **15** /スタンバイランプについて **14******ファンクションランプ**

各ファンクションごとのランプの色は以下のとおりです。

リモコンのファンクションボタン**1**と同じ色が点灯します。

ファンクション	リモコンボタン	ランプの色
FM	FMボタン	ピンク色
AM	AMボタン	水色
AUDIO IN	外部入力ボタン	橙色
CD	CDボタン	黄色
iPod	iPodボタン	白色
BT AUDIO (Bluetooth) <sup>1</sup>	BLUETOOTHボタン <sup>1</sup>	青色

<sup>1</sup> CMT-V70BiPのみ

**スタンバイランプ**

モデル名	ランプの状態	本機の状態
CMT-V70BiP	消灯	電源が入っている状態
	赤色に点灯	スタンバイモード中(本機の電源オフ状態)
	青色、赤色が交互に点灯	Bluetoothスタンバイモード中 <sup>1</sup> (本機の電源オフ状態)
	赤色に点滅	異常を検出 <sup>2</sup>
CMT-V50iP	消灯	電源が入っている状態
	赤色に点灯	スタンバイモード中(本機の電源オフ状態)
	赤色に点滅	異常を検出 <sup>2</sup>

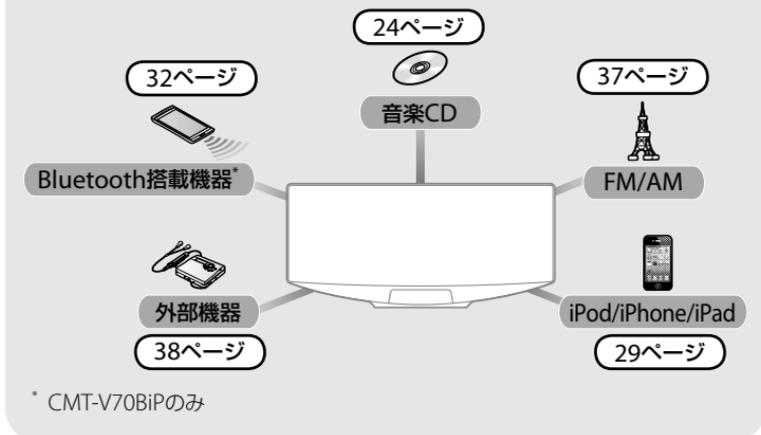
<sup>1</sup> CMT-V70BiPのみ

<sup>2</sup> 「スタンバイランプが点滅しているときは」(49ページ)をご覧ください。

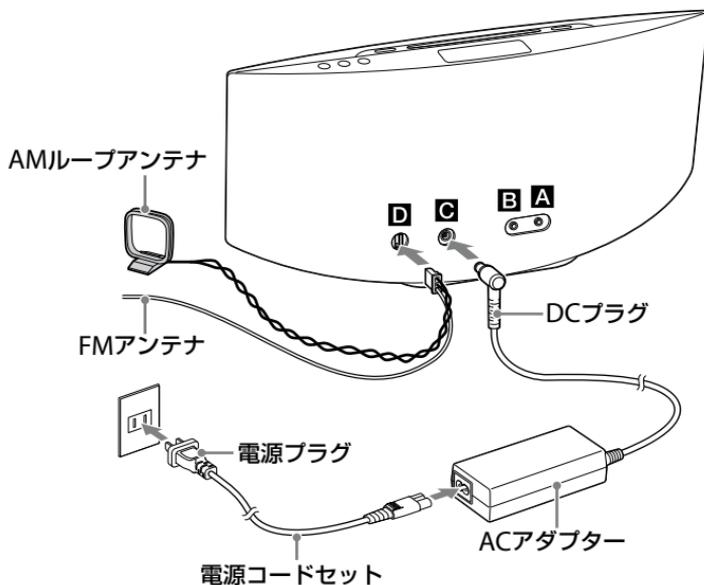
# 本機の楽しみかた

聞く

いろいろな音源から音楽を聞く



# 接続する



## AMループアンテナをセットするには



アンテナに巻かれて  
いるアンテナコード  
をほどき、台を起す

アンテナを起こして  
カチッと音がするま  
で溝に確実にはめる

## A (ヘッドホン)端子

ヘッドホンを接続します。

## B AUDIO IN (外部入力)端子

別売りのオーディオケーブルを使って外部入力機器を接続します。

## C DC入力 19.5 V (電源)

すべての機器を接続したあと、図のようにコンセントにつないでください。

## D アンテナ(FM/AM)

アンテナを接続しないとラジオ放送を受信できません。

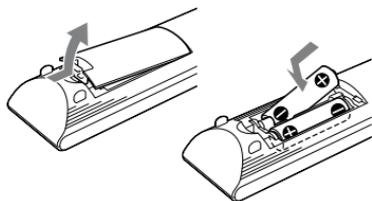
受信状態の良い場所や方向を探して設置してください。

雑音の原因になるため、AMループアンテナは本体や電源コードセット、他のAV機器から離してください。

FMアンテナは、先端をテープなどで固定してください。

## リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、リモコンに単3形乾電池(R6、付属) 2個を入れます。イラストのように⊖極側から入れます。

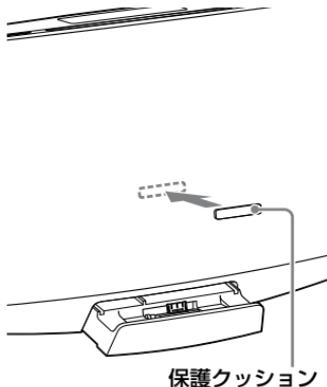


### ご注意

- 電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
  - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
  - 新しい電池と使った電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
  - 電池は充電しないでください。
  - 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出してください。
  - 液漏れたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部 16 に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作できないことがあります。
- 電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい電池に交換してください。

## 保護クッションを取り付ける

iPodコネクター [17]にiPod/iPhone/iPadを接続したとき、本機とiPod/iPhone/iPadが直接接触しないように保護クッションを取り付けます。



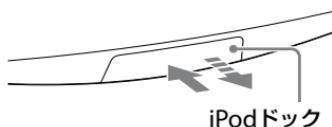
## iPod/iPhone/iPadを本機に接続する

本機でiPod/iPhone/iPadを楽しむときは、iPodドックを開き、iPodコネクター [17]にiPod/iPhone/iPadを接続します。

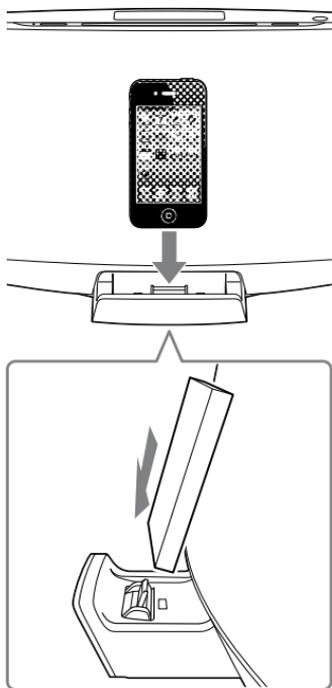
本機はアタッチメントの取り付けは必要ありません。iPodコネクター [17]にiPod/iPhone/iPadを直接接続してください。

本機が対応するiPod/iPhone/iPadについては、「対応iPod/iPhone/iPadモデル」(29ページ)をご覧ください。

- 1 iPodドックの中央部を押し、iPodドックを開く。



## 2 iPodコネクタ 17にiPod/ iPhone/iPadを接続する。

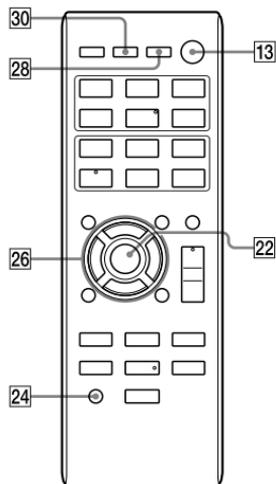


### ご注意

iPod/iPhone/iPadをはずす際に、本機が  
転倒しないようご注意ください。

## 時計を合わせる

リモコンのボタンを使って時計を合  
合わせます。



- 1 I/⏻(電源)ボタン13を押して、  
電源を入れる。
- 2 シフトボタン24を押しなが  
ら、時計/タイマー設定ボタン  
30を押す。  
「PLAY SET」が点滅するときは、  
⏪/⏩ボタン26を繰り返し押し  
て「CLOCK」を選び、⊕ボタン22  
を押してください。
- 3 ⏪/⏩ボタン26を繰り返し押し  
て「時」を合わせ、⊕ボタン22  
を押す。
- 4 「時」と同じ手順で「分」を合  
わせ、⊕ボタン22を押す。

## ご注意

停電になったり、電源プラグやDCプラグなどが抜け電源供給がなくなると、時計設定は解除されます。

## 電源が切れているときに時計を確認するには

表示切換ボタン $\text{[28]}$ を繰り返し押し、時計を表示させます。時計は約8秒間表示されます。

# オートスタンバイ機能について

本機にはオートスタンバイ機能がついています。このオートスタンバイ機能によって、無操作または無音の状態が30分経過すると本機は自動的にスタンバイモードに移行します。スタンバイモードに移行するときは、移行する2分前に「AUTO. STBY」が表示されます。

お買い上げ時の初期設定では有効になっていますが、本体のボタンを使ってオートスタンバイ機能を切ることができます。

## 1 本機の電源が入っているときに、「AUTO. STBY OFF」が表示されるまで本体のI/⏻ボタン $\text{[13]}$ を押し続ける。

- オートスタンバイ機能を「オン」にするには、「AUTO. STBY ON」が表示されるまで本体のI/⏻ボタン $\text{[13]}$ を押し続けてください。

## ご注意

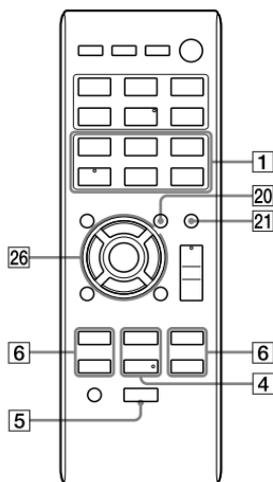
- オートスタンバイ機能を有効にしても、

FM、AMファンクションをお使いのときは無効となり、スタンバイモードへ移行しません。

- オートスタンバイ機能を有効にしても、次の状態のときにはスタンバイモードへ移行しません。
  - 音声信号を検出したとき。
  - 曲を再生しているとき。
  - 再生タイマーまたはスリープタイマー開始のための処理が始まったとき。
- オートスタンバイ機能を有効にした状態で次の操作を行うと、オートスタンバイモードへ移行するまでの時間(30分)をリセットして再カウントします。
  - iPod/iPhone/iPadを接続したとき。
  - 本体またはリモコンの操作ボタンを押したとき。

## CDを聞く

# CD/MP3ディスクを再生する

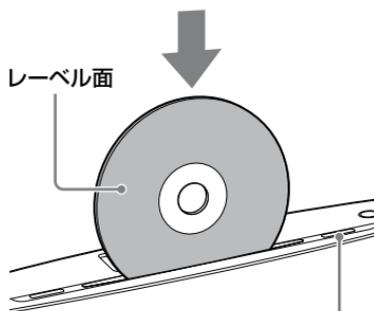


### 1 CDファンクションボタン<sup>1</sup>を押す。

ファンクションランプが黄色に点灯します。

- 本体では、ファンクションボタン<sup>1</sup>を繰り返し押して表示窓に「CD」を表示させます。

### 2 レーベル面を手前にして、ディスクをディスクスロットにセットする。



▲(イジェクト)<sup>11</sup>ディスクを取り出します。

「READING」の点滅表示が消えると、自動的に再生を開始します。

- ディスクが挿入されている状態で、他のファンクションからCDファンクションへ切り換えた場合は、▶ボタン<sup>4</sup> (本体では▶||<sup>4</sup>)を押して、再生を開始してください。



**「NO DISC」が表示されたときは**ディスクが入っていないまたは本機では再生できないディスクを挿入しています。「使用上のご注意」(44ページ)をご覧ください。再生できるディスクを挿入してください。

### ご注意

- 表示窓に「NO DISC」が表示されていないときは、ディスクはディスクスロットに挿入できません。無理にディスクを挿入しないでください。
- 表示窓に「NO DISC」が表示されている状態でディスクを挿入できない場合は、ディスクスロットにディスクが入っている場合があります。その場合は、▲<sup>11</sup>を

押し続けてください。ディスクを強制的に取り出すことができます。それでも取り出せない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

- 表示窓に「LOCKED」が表示され、ディスクを取り出せない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
- 特殊な形状(ハート型、カード型、星型など)のディスクを挿入しないでください。内部でディスクが落ち込み、修復不能な損傷を本機に与えるおそれがあります。
- テープやシールの貼られたディスク、接着剤ののりが付着したディスクなどは、故障するおそれがあるため、本機では使わないでください。
- ディスクを取り出すときは、記録面に触れないようご注意ください。
- 変換アダプターを使用して標準サイズにした8cmディスクは、本機の故障の原因となるためお使いになれません。

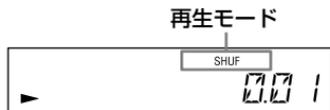
## その他の操作

こんなときは	操作
一時停止する	■ボタン[4] (本体では▶■ボタン[4])を押す。もう一度押すと再生を再開します。
再生を止める	■ボタン[5]を押す。
曲を選ぶ	◀◀/▶▶ボタン[6]を押す。
曲中の聞きたい部分を探す	再生中に◀◀/▶▶ボタン[6] (本体では◀◀/▶▶ボタン[6])を押し続け、聞きたいところで指を離す。
曲を繰り返し聞く	リピートボタン[2]を繰り返し押し、[↺] (全曲リピート再生) または [↺1] (1曲リピート再生) を点灯させる。
MP3ディスク内のフォルダを選ぶ	📁 +/- ボタン[26] を繰り返し押す。
ディスクを取り出す	本体の▲ボタン[11] を押す。

## 再生モードを変えるには

ディスクの停止中に再生モードボタン[20]を繰り返し押し、再生モードを切り換えます。再生モードは、以下のとおり切り換わります。

ノーマル再生(「なし」または「FLDR」点灯\*) → シャッフル再生(「SHUF」または「FLDR SHUF」点灯\*) → プログラム再生(「PGM」点灯)



\* 「FLDR」または「FLDR SHUF」を選択しているときは、MP3ディスク内の選択したフォルダ(アルバム)を再生対象にします。このとき、フォルダ内の全曲が再生されます。

CD (CD-DAディスク)が再生対象のときは、ノーマル再生「なし」またはシャッフル再生「SHUF」と同じ動作となります。

### 「PUSH STOP」が表示されたときは

再生中は再生モードの変更はできません。停止してから再生モードを変更してください。

### リピート再生についてのご注意

- 「」は、再生を停止するまで全曲を繰り返し再生します。
- 「」は、再生を停止するまで再生中の1曲だけを繰り返し再生します。

### シャッフル再生についてのご注意

- 「SHUF」は、ディスク内の全ての曲をシャッフル再生します。「FLDR SHUF」は、選択しているフォルダ内の曲をシャッフル再生します。
- 本機の電源を切ると、選択していたシャッフル再生モード(「SHUF」または「FLDR SHUF」)はリセットされ、ノーマル再生(「なし」または「FLDR」)モードとなります。

### MP3ディスクについてのご注意

- MP3ディスク作成の際には、不要なフォルダやファイルをMP3ファイルといっしょに記録しないでください。
- フォルダ内にMP3ファイルが存在しない場合は、このフォルダは表示されません。
- ファイル名に「.mp3」の拡張子を持つオーディオファイルのみが再生対象となります。

- ファイル名に「.mp3」の拡張子を持っていても、MP3形式のオーディオファイルでない場合には再生されません。このようなファイルの再生は、大音量のノイズとなり、本機の故障の原因となることがあります。

- MP3ディスクに対する本機の上限は次のとおりです。

- 最大フォルダ数：999\* (ルートフォルダ含む)
- 最大ファイル数：999
- 1つのフォルダ内で認識可能な最大ファイル数：250
- 認識可能な最大階層(フォルダ)レベル：8

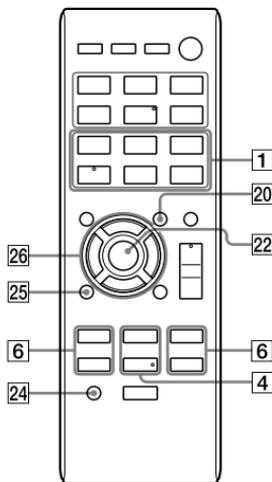
- 本機は、エンコードソフトウェアや書き込み用ソフトウェア、CD-R/RWドライブ、使用メディアなど、MP3ディスクの作成に必要な機器やソフトウェアのすべてを保証するものではありません。作成したMP3ディスクが本機での再生に適さない場合、ノイズが再生される、再生が途切れる、まったく再生されないなど、不具合が発生するおそれがあります。

\* MP3ファイルが存在しないフォルダ、空フォルダも含まれます。フォルダ構成によっては本機で認識できるフォルダ数が少なくなる場合があります。

# 好きな順に 曲を聞く

(プログラム再生)

リモコンのボタンを使ってプログラム登録をします。



## 1 CDファンクションボタン<sup>1</sup>を押す。

ファンクションランプが黄色に点灯します。

- 本体では、ファンクションボタン<sup>1</sup>を繰り返し押し続けて表示窓に「CD」を表示させます。

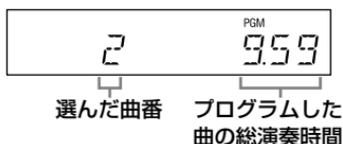
## 2 停止中に再生モードボタン<sup>20</sup>を繰り返し押し続けて「PGM」を点灯させ、プログラム再生モードを選ぶ。

## 3 フォルダを選ぶ(MP3ディスクのみ)。

- **1** +/- ボタン<sup>26</sup>を繰り返し押し続けて、プログラムしたいフォルダを選びます。
- フォルダ内の全曲をプログラムしたい場合は、**+** ボタン<sup>22</sup>を押してください。

## 4 曲を選ぶ。

- **◀▶** ボタン<sup>6</sup>を繰り返し押し続けて、プログラムしたい曲を選びます。



## 5 **+** ボタン<sup>22</sup>を押す。

- プログラムした曲の総演奏時間が10分を超える場合や、MP3ファイルプログラムした場合には「-.-.-」と表示されます。

## 6 手順3～5を繰り返ししてプログラムする。

- 最大25曲までプログラムできます。

### 「FULL」が表示されたときは

26曲目を登録しようとしています。「プログラムを消すには」(28ページ)をご覧ください。プログラムを消してから登録し直してください。

## 7 **▶** ボタン<sup>4</sup>を押す。

プログラム再生が始まります。

- 本体では、**▶** ボタン<sup>4</sup>を押します。
- 登録したプログラムは、ディスクを取り出したり、電源コードセットを抜かない限り保持されます。
- プログラム再生後、同じプログラムを再生するには、**▶** ボタン<sup>4</sup>を押してください。

## プログラム再生を中止するには

停止中に、「PGM」が消えるまで再生モードボタン $\overline{20}$ を繰り返し押します。

## プログラムを消すには

停止中に、シフトボタン $\overline{24}$ を押しながら、クリアボタン $\overline{25}$ を押します。ボタンを押すたびに、最後にプログラム登録した曲から消えます。登録していたプログラムをすべて消去すると、「NO STEP」が表示されます。

## iPod/iPhone/ iPadの曲を聞く

# iPod/iPhone/ iPadの曲を再生す る

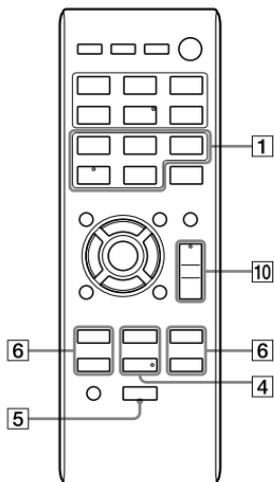
本機にiPod/iPhone/iPadを接続して、iPod/iPhone/iPadの音楽を再生することができます。曲の再生や停止など、本機のボタンを使ってiPod/iPhone/iPadを操作することもできます。

## 対応iPod/iPhone/ iPadモデル

本機で使用できるiPod/iPhone/iPadは次のとおりです。

- iPod touch (第4世代)
- iPod touch (第3世代)
- iPod touch (第2世代)
- iPod nano (第6世代)
- iPod nano (第5世代・ビデオカメラ)
- iPod nano (第4世代・ビデオ)
- iPod nano (第3世代・ビデオ)
- iPod classic 160 GB (2009)
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G
- iPad (第3世代)
- iPad 2
- iPad

「Made for iPod」「Made for iPhone」「Made for iPad」とは、それぞれiPod、iPhone、iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。本製品をiPod、iPhone 又は iPad と共に使用すると、ワイヤレス機能に影響を及ぼす可能性があります。

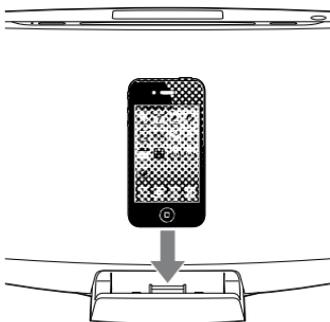


## 1 iPodファンクションボタン<sup>1</sup>を押す。

- 本体では、ファンクションボタン<sup>1</sup>を繰り返し押し表示窓に「iPod」を表示させます。

## 2 iPod/iPhone/iPadを本体のiPodコネクター<sup>17</sup>に接続する。

表示窓に「CONNECT」が表示され、iPod/iPhone/iPadの読み込みが開始します。



## 3 表示窓に「iPod」が表示されたら、▶ボタン<sup>4</sup>を押して、再生を開始する。

- 本体では、▶||ボタン<sup>4</sup>を押します。

### その他の操作

本体またはリモコンのボタンを使って以下の操作ができます。

こんなときは	操作
一時停止する	ボタン <sup>4</sup> (本体では▶  ボタン <sup>4</sup> ) ▶ボタン <sup>4</sup> または■ボタン <sup>5</sup> を押す。
曲を選ぶ、オーディオブックやポッドキャストデータのチャプターを選ぶ	◀◀/▶▶ボタン <sup>6</sup> を押す。
曲中の聞きたい部分を探る	再生中に◀◀/▶▶ボタン <sup>6</sup> (本体では◀◀/▶▶ボタン <sup>6</sup> )を押し続け、聞きたいところで指を離す。
iPodの表示窓で、メニュー項目や再生する曲を選ぶ	⊕ボタン <sup>22</sup> を押す。
iPodの表示窓でメニュー画面を上下、前後にスクロールする	◆/▼ボタン <sup>26</sup> を押す。

---

**こんなときは 操作**


---

iPodの表示窓  
で、リスト画面  
の前の画面に  
戻る

戻るボタン<sup>25</sup>また  
はツールメニューボ  
タン<sup>23</sup>を押す。

---

**ご注意**

- お使いのiPod/iPhone/iPadによっては、本機での操作に対する動作が異なる場合があります。
- iPod/iPhone/iPadを抜き挿しするときは、iPodコネクタ<sup>17</sup>の角度に沿ってまっすぐ抜き挿ししてください。また、iPodコネクタ<sup>17</sup>が破損するおそれがあるため、iPod/iPhone/iPadをひねったり、反らせないようにご注意ください。
- iPod/iPhone/iPadを接続したままの状態、本機を移動しないでください。故障の原因となることがあります。
- iPod/iPhone/iPadを抜き挿しするときは、本機をしっかりと手で押さえ、iPod/iPhone/iPadの操作ボタンを誤って押さないようにご注意ください。
- 音量は、本体またはリモコンの音量+/-ボタン<sup>10</sup>を使って調節してください。iPod/iPhone/iPad側で音量を調節しても音量は変わりません。
- iPod/iPhone/iPadの使用については、iPod/iPhone/iPadに付属されている取扱説明書もご覧ください。
- 本機でのiPod/iPhone/iPadの使用により、iPod/iPhone/iPadに保存されているデータが万が一消去したり、あるいは変更された場合、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

**iPod/iPhone/iPadを  
充電する**

本機は、本機の電源が入/切どちらの状態でもiPod/iPhone/iPadをiPodコネクタ<sup>17</sup>に接続すると、自動的に充電を開始します。

iPod/iPhone/iPad充電中の状況については、iPod/iPhone/iPadの表示窓に表示されるバッテリーアイコンを確認してください。充電を終了するときは、本機からiPod/iPhone/iPadを取りはずしてください。

本機で使用できるiPod/iPhone/iPadについては、「対応iPod/iPhone/iPadモデル」(29ページ)をご覧ください。

## Bluetooth接続で 聞く

# Bluetooth接続を 準備する (CMT-V70BiPのみ)

本機は、Bluetooth搭載“ウォークマン”やBluetooth搭載機器で再生する音楽を、Bluetooth接続によりワイヤレスで楽しめます。

Bluetooth接続で音楽を聞くために、まずはじめにBluetooth搭載機器を登録するペアリングを行います。

### ペアリングとは

Bluetooth機器では、あらかじめ、接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。

一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
- 10台以上の機器をペアリングしようとしたとき。  
本機は9台までの機器をペアリングすることができます。9台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、9台のなかで最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 接続相手の機器から、本機との接続履歴が削除されたとき。

- 本機を初期化したり、本機で接続履歴を削除した場合は、すべてのペアリング情報が消去されます。

## Bluetoothのランプ表示について

ファンクションランプにBluetoothの状態を次のようにランプでお知らせします。

本機の状態	ランプの色	ランプの状態
Bluetooth待ち受け中(電源オン時)	青色	ゆっくり点滅
Bluetoothペアリング中	青色	速く点滅
本機から接続中	青色	点滅
Bluetooth接続完了後	青色	点灯

本機は、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP 1.3 (Audio Video Remote Control Profile)に対応しています。詳しくは、「Bluetooth無線技術について」(46ページ)をご覧ください。

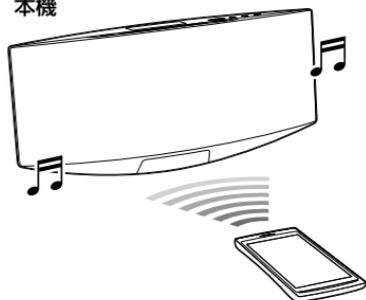
### ご注意

- 接続する機器の使いかたについて詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 接続するBluetooth搭載機器が、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)に対応している必要があります。

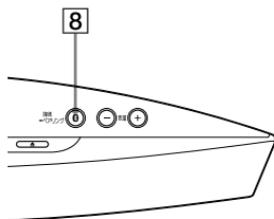
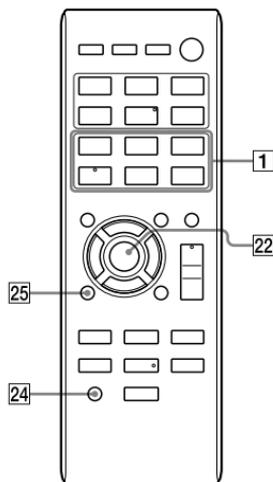
## ペアリングする

### 接続例

本機



Bluetooth搭載機器



1 本機とBluetooth搭載機器を1m以内に置く。

2 BLUETOOTHファンクションボタン①を押す。

ファンクションランプが青色にゆっくり点滅します。

- 本体では、ファンクションボタン①を繰り返し押して表示窓に「BT AUDIO」を表示させます。
- 自動接続により過去に接続したBluetooth機器と接続してしまった場合は、Bluetoothボタン⑧を押して接続を解除し、表示窓に「BT AUDIO」を表示させます。

3 本体のBluetoothボタン⑧を2秒以上押す。

ファンクションランプ(青色)が速く点滅し、表示窓に「PAIRING」が点滅します。

本機はペアリングモードになります。

4 Bluetooth搭載機器でペアリング操作を行い、本機を検索する。

検出が終了すると、Bluetooth搭載機器の画面に検出した機器の一覧が表示されます。

- 本機は、「CMT-V70BiP(S)」または「CMT-V70BiP(R)」と表示されます。画面に「CMT-V70BiP(S)」または「CMT-V70BiP(R)」が表示されない場合は、もう一度手順1から操作を行ってください。
- Bluetooth搭載機器でオーディオプロファイル(A2DP、AVRCP)を選択してください。
- Bluetooth搭載機器が、AVRCP(Audio Video Remote Control Profile))に対応していない場合は、本機では再生や停止などの操作はできません。

- Bluetooth搭載機器の操作について詳しくは、お使いのBluetooth搭載機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

## 5 Bluetooth搭載機器の画面に表示されている「CMT-V70BiP(S)」または「CMT-V70BiP(R)」を選択する。

- お買い上げいただいたCMT-V70BiPのカラーバリエーションによって表示される機器名が異なります。ダークシルバーはCMT-V70BiP(S)、レッドはCMT-V70BiP(R)と表示されます。
- Bluetooth搭載機器の画面でパスコードの入力を要求されたら、「0000」を入力してください。

## 6 Bluetooth搭載機器からBluetooth接続操作を行う。

ペアリングが完了し正しく接続できると、表示窓の表示が「PAIRING」から「BT AUDIO」に切り換わり、ファンクションランプ(青色)がゆっくり点滅します。

- お使いの機器によっては、ペアリングが完了すると自動的にBluetooth接続を開始する場合があります。

### ご注意

- パスコードは、パスキー、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。
- 本機のペアリングモードは約5分で解除されます。ペアリングが完了しないときは、もう一度手順1から行ってください。
- Bluetooth接続をしている場合、本機は他のBluetooth搭載機器とペアリングしたり、Bluetooth接続することはできません。
- 複数のBluetooth機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順1～6を繰り返してください。

## ペアリングの情報を削除する

### 1 BLUETOOTHファンクションボタン<sup>①</sup>を押す。

- 本体では、ファンクションボタン<sup>①</sup>を繰り返し押して表示窓に「BT AUDIO」を表示させます。
- Bluetooth接続をしている場合は、本機の表示窓に、Bluetooth搭載機器で設定されている機器名が表示されます。<sup>②</sup>(Bluetooth)ボタン<sup>⑧</sup>を押して接続を解除して、表示窓に「BT AUDIO」を表示させます。

### 2 シフトボタン<sup>⑭</sup>を押しながら、クリアボタン<sup>⑮</sup>を押す。

表示窓に「DELETE」が点滅します。

### 3 <sup>⊕</sup>ボタン<sup>⑳</sup>を押す。

表示窓に「COMPLETE」が表示され、すべてのペアリング情報が削除されます。

### ご注意

- ペアリング情報を削除した場合、再びペアリングを行わないとBluetooth接続はできません。Bluetooth搭載機器と再びBluetooth接続したい場合は、Bluetooth搭載機器側でパスコードの入力が必要となる場合があります。
- ペアリング情報を削除すると、Bluetoothスタンバイモードの設定はオフになります。

## Bluetooth接続で音楽を聞く

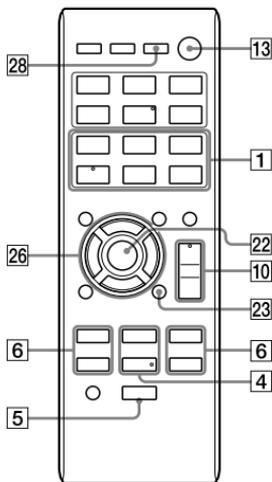
本機とペアリングしたBluetooth搭載機器を操作して、Bluetooth接続で音楽を聞きます。

Bluetooth搭載機器を使って、本機の音量を調節したり、再生/停止などを操作できます。操作方法について詳

しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。

- 相手側のBluetooth搭載機器のBluetooth機能が有効になっている。
- 本機とBluetooth搭載機器のペアリングが完了している。



## 1 BLUETOOTHファンクションボタン[1]を押す。

ファンクションランプが青色にゆっくり点滅します。

- 本体では、ファンクションボタン[1]を繰り返し押し表示窓に「BT AUDIO」を表示させます。

## 2 Bluetooth搭載機器から本機へ、Bluetooth接続を開始する。

正しく接続できると、表示窓に「LINKED」が表示され、続けて

Bluetooth搭載機器で設定されている機器名が表示されます。

- 過去に接続したBluetooth機器がある場合は、Bluetooth搭載機器の操作をしなくても自動的に接続される場合があります。
- Bluetooth搭載機器の操作方法について詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

## 3 ▶ボタン[4]を押して再生を始める。

- 本体では、▶ボタン[4]を押します。
- お使いのBluetooth搭載機器によっては、あらかじめMUSIC Applicationの起動が必要な場合があります。
- お使いのBluetooth搭載機器によっては▶ボタン[4]を2回押す必要があります。

## 4 音量+/-ボタン[10]を押して音量を調節する。

### その他の操作

本体またはリモコンのボタンを使って以下の操作ができます。

#### こんなときは 操作

一時停止する	■ボタン[4]* (本体では▶■ボタン[4]*)を押す。
再生を止める	■ボタン[5]を押す。
フォルダを選ぶ	📁 +/-ボタン[26]を押す。
曲を選ぶ	◀▶▶▶ボタン[6]を押す。
曲中の聞きたい部分を探す	再生中に◀◀/▶▶▶▶ボタン (本体では◀◀/▶▶▶▶ボタン) [6]を押し続け、聞きたいところで指を離す。

\* お使いのBluetooth搭載機器によっては▶■ボタン[4] (本体では▶▶▶▶ボタン[4])を2回押す必要があります。

## ご注意

本書で説明した操作は、一部のBluetooth搭載機器では対応していない場合があります。また、お使いのBluetooth搭載機器によって実際の動作は異なる場合があります。

### Bluetooth搭載機器のアドレスを確認するには

表示窓にBluetooth搭載機器で設定されている機器名が表示されているときに表示切換ボタン $\text{[28]}$ を押すと、Bluetooth搭載機器のアドレスが、2画面に分けて計8秒間表示されます。

### Bluetooth接続を切断するには

本体の  $\text{[Bluetooth]}$  ボタン $\text{[8]}$ を押してください。表示窓に「UNLINKED」が表示されます。

お使いのBluetooth搭載機器によっては、音楽の再生を終了すると自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

### Bluetoothスタンバイモードを設定／解除する

Bluetoothスタンバイモードを設定／解除します。

Bluetoothスタンバイモードを設定することで、電源が入っていない状態でもBluetooth接続待ち状態にすることができます。

- 本機にペアリング情報が無い場合は、Bluetoothスタンバイモードを設定することはできません。

### 1 BLUETOOTHファンクションボタン $\text{[1]}$ を押す。

ファンクションランプが青色に点滅します。

- 本体では、ファンクションボタン $\text{[1]}$ を繰り返し押して、表示窓に「BT AUDIO」を表示させます

- 自動接続により過去に接続したBluetooth機器と接続してしまった場合は、 $\text{[Bluetooth]}$  ボタン $\text{[8]}$ を押して接続を解除し、表示窓に「BT AUDIO」を表示させます。

### 2 ツールメニューボタン $\text{[23]}$ を押す。

表示窓に「BT STBY」が表示されます。

- ペアリング情報がない場合は、表示窓に「NOT USED」が点滅します。

### 3 $\text{[+]}$ ボタン $\text{[22]}$ を押す。

表示窓に「ON」または「OFF」が表示されます。

### 4 $\text{[<< / >>]}$ ボタン $\text{[6]}$ を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ。

### 5 $\text{[I/O]}$ ボタン $\text{[13]}$ を押して、本機の電源を切る。

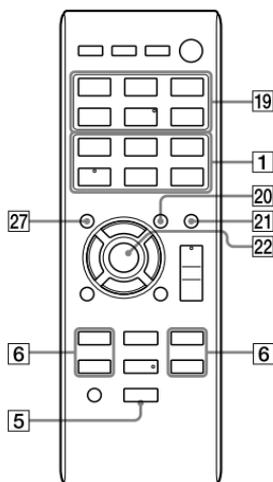
- 「ON」に設定した場合、相手側からBluetooth接続操作を行うことで、本機の電源がオンになり、Bluetooth接続で音声聞くことができます。

## ご注意

ペアリング情報を削除すると、Bluetoothスタンバイモードの設定はオフになります。

## その他の操作と設定

### ラジオを聞く



### ラジオ局を受信する

- 1 FMファンクションボタン①、またはAMファンクションボタン①を押して、ラジオ局を選ぶ。

ファンクションランプが点灯します (FM : ピンク色 / AM : 水色)

- 本体では、ファンクションボタン①を繰り返し押し、表示窓に「FM」または「AM」を表示させます。

- 2 選局モードボタン⑳を繰り返し押し押しして「AUTO」を表示させる。

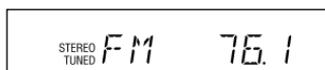
- ボタンを押すたびに「AUTO」→「PRESET」→「MANUAL」の順に選局モードが切り換わります。

- 3 +/-ボタン⑥を押す。

表示窓の周波数表示の数字が動き始めます。

- 本体では、選局 +/- ボタン⑥を押します。

ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「TUNED」(受信中)と「STEREO」(FMステレオ放送のときのみ)が点灯します(オートチューニング)。



「TUNED」が点灯せずラジオ局を受信できなかったときは、■ボタン⑤を押して、以下の手順に従って手動で選局することもできます。

#### 手動で選局する場合(マニュアルチューニング)

選局モードボタン⑳を繰り返し押し押しして、「MANUAL」を表示させ、 +/- ボタン⑥を繰り返し押し押しして、聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

#### ちょっと一言

FMステレオ放送の雑音を低減するには、FM モードボタン㉑を繰り返し押し押しして「MONO」を表示させ、モノラル受信に切り換えてください。



「MONO」が4秒間表示されます。

## ラジオ局を登録する

お好みのラジオ局を登録しておくことができます。

- 1 登録したいラジオ局を受信する。
- 2 放送局登録ボタン $\text{27}$ を押す。

プリセット番号



- 3 +/-ボタン $\text{6}$ を繰り返し押し、プリセット番号を選ぶ。
  - 本体では、選局+/-ボタン $\text{6}$ を押します。
  - プリセット番号1～6に登録したラジオ局は、リモコンのチューナーメモリー番号(1～6)ボタン $\text{19}$ に自動的に登録されます。
  - すでに登録済みのプリセット番号を選んだ場合は、新たに受信しているラジオ局の登録に置き換わります。

- 4  $\oplus$ ボタン $\text{22}$ を押して、登録を決定する。  
「COMPLETE」が表示されます。

- 5 手順1～4を繰り返して他のラジオ局を登録する。
  - FM放送は20局まで、AM放送は10局まで登録することができます。

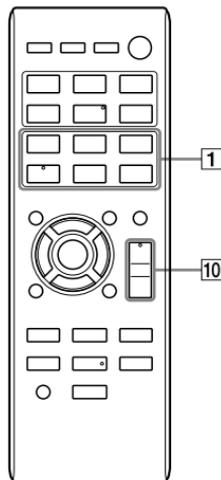
### 登録したラジオ局を聞くには

プリセット番号1～6に登録したラジオ局は、本機がFMまたはAMファンクションに設定されている状態で、リモコンのチューナーメモリー番号(1～6)ボタン $\text{19}$ を押してください。登録したラジオ局に切り換わります。

プリセット番号7以降に登録したラ

ジオ局は、選局モードボタン $\text{20}$ を繰り返し押しして「PRESET」を表示させ、+/-ボタン $\text{6}$ を押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選びます。

## 外部機器を接続して聞く



- 1 音量-ボタン $\text{10}$ を押して、音量レベルを下げる。

- 2 別売りの外部機器を外部入力端子 $\text{A}$  (19ページ)に接続する。

• 別売りのオーディオ接続コードを使って、外部機器のオーディオ出力端子に接続します。

- 3 外部入力ファンクションボタン $\text{1}$ を押す。

ファンクションランプが橙色に点灯します。

- 本体では、ファンクションボタン<sup>1</sup>を繰り返し押し表示窓に「AUDIO IN」を表示させます。

#### 4 外部機器の再生を始める。

- 再生が始まったら、外部機器側の音量を調節してください。

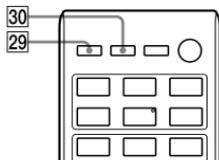
#### 5 音量+/-ボタン<sup>10</sup>を押して、音量を調節する。

#### ご注意

外部機器の音量が小さすぎると、本機のオートスタンバイ機能によって自動的にスタンバイモードに移行します。詳しくは、「オートスタンバイ機能について」(23ページ)をご覧ください。

## 音質を調整する

好みの音に合わせてバスブーストやサウンド効果を設定します。



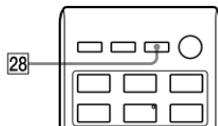
#### バスブーストを設定する

バスブースト(低音増強)を設定します。BASS BOOSTボタン<sup>29</sup>(本体では<sup>3</sup>)を繰り返し押し「ON」または「OFF」を設定します。

#### サウンド効果を設定する

SOUND EFFECTボタン<sup>30</sup>(本体では<sup>2</sup>)を繰り返し押しお好みのサウンドを選択します。

## 表示窓の表示を切り換える



#### こんなときは 操作

表示窓で情報を見る\* 電源「入」時に、表示切換ボタン<sup>28</sup>を繰り返し押し。

電源「切」時に時計を表示する 電源「切」時に、表示切換ボタン<sup>28</sup>を繰り返し押し。約8秒間時計が表示されます。

\* CDやMP3ディスクの再生中は次のような情報を見ることができます。

#### CD-DAディスクの場合

- 再生している曲の残時間
- 総残時間

#### MP3ディスクの場合

- 曲名(「♪」)
- アーティスト名(「人」)
- アルバム名(「」)

#### 表示に関するご注意

- 本機で表示できない文字があった場合、アンダースコア( )に置き換えて表示されます。
- 以下の情報は表示されません。
  - MP3ディスクの総演奏時間および残り時間
  - 曲(MP3ファイル)の残り時間
- 以下の情報は正しく表示されないことがあります。
  - VBR (Variable Bit Rate)の設定でエンコードされたMP3ファイルの再生経過時間

- ISO9660 Level 1/Level 2または Jolietの拡張フォーマットの命名規則に準拠していないフォルダ名、ファイル名
- 以下の情報は表示されます。
  - CD-DAディスクの総演奏時間(PGMモード以外での停止中)
  - 曲(CD-DAトラック)の残り時間
  - CD-DAディスクの残り時間(ノーマル再生モードでの再生中)
  - MP3ファイルのID3タグの情報。ID3のバージョン1とバージョン2のタグが混在して使われている場合は、バージョン2のタグ情報が優先的に表示されます。
  - ID3タグの先頭から最大64文字。表示可能な文字の種類は、大文字(A～Z)、数字(0～9)、記号(“\$% ’ () \* +, - . / < = > @ [ \ ] \_ ` { | } ! ? ^ ˇ”)です。

## タイマーを使う

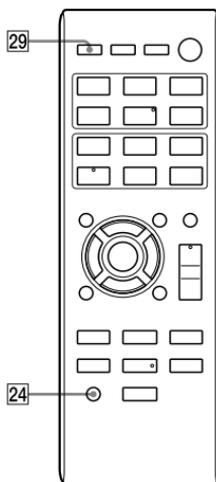
本機のタイマー機能には、スリープタイマーと再生タイマーの2種類があります。

再生タイマーが動いているときにスリープタイマーを使うと、スリープタイマーが優先されます。

タイマーの設定は、リモコンのボタンで行います。

## スリープタイマーを設定する

指定した時間が経過すると、自動的に本機の電源が切れます。スリープタイマーは、本機の時計を合わせていない状態でも使用できます。

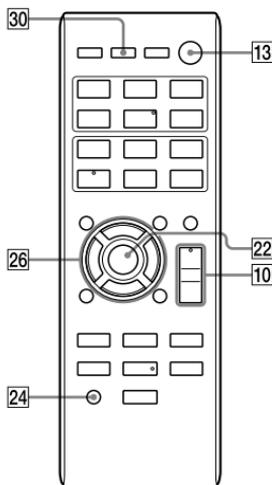


## 1 シフトボタン<sup>24</sup>を押しながら、スリープボタン<sup>29</sup>を繰り返し押し直す。

- ボタンを押すたびに、設定時間が90分～10分まで10分ごとに表示されます。
- スリープタイマーを中止するときは、「OFF」を選びます。

## 再生タイマーを設定する

指定した時刻に毎日自動的に音源をスタートさせ、CDやMP3ディスク、iPod/iPhone/iPadからの音楽やラジオを聞くことができます。設定の前に、本機の時計を合わせてください。



### 1 音源を準備する。

- 音源を準備し、音量+/-ボタン<sup>10</sup>を押して音量を調節します。音源として指定できるのは、CD、iPod、FM、AMファンクションです。

- ディスクの好きな曲だけを再生したいときは、プログラム登録をしてください。詳しくは、「好きな順に曲を聞く」(27ページ)をご覧ください。
- ラジオ局を音源にするときは、オートチューニング、マニュアルチューニング、登録済みのプリセットのいずれかの方法で、事前にお好みのラジオ局に周波数を合わせてください(37ページ)。

### 2 シフトボタン<sup>24</sup>を押しながら、時計/タイマー設定ボタン<sup>30</sup>を押す。

### 3 再生タイマーを選ぶ。

- **▶/◆**ボタン<sup>26</sup>を繰り返し押しして「PLAY SET」を選び、**⊕**ボタン<sup>22</sup>を押します。

開始時刻の時間が点滅します。

### 4 開始時刻を設定する。

- **▶/◆**ボタン<sup>26</sup>を繰り返し押しして「時」を設定し、**⊕**ボタン<sup>22</sup>を押します。分表示が点滅したら、同様に「分」を設定します。

「分」の設定が終わると、終了時刻の設定に切り換わります。

### 5 手順4と同様の手順で終了時刻を設定する。

#### 「TIME NG」が点滅表示されたときは

開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を設定し直してください。

### 6 音源を選ぶ。

- **▶/◆**ボタン<sup>26</sup>を繰り返し押しして音源を選び、**⊕**ボタン<sup>22</sup>を押します。音源として指定できるのは、CD、iPod、FM、AMファンクションです。

音源の設定が終わると、再生タイマーの設定確認が表示されます。

## 7 I/Oボタン<sup>13</sup>を押して、電源を切る。

- 音源をFM、AMIに指定している場合は、タイマー開始時刻の約15秒前、音源をCDに指定している場合は、タイマー開始時刻の約90秒前、音源をiPod/iPhone/iPadに指定している場合は、タイマー開始時刻の約30秒前に自動的に電源が入ります。
- 開始時刻に電源が入っていると、再生タイマーは動きません。電源が入り音源の再生が始まるまで、本機の操作はしないでください。

## タイマーの設定を確認するには

- 1 シフトボタン<sup>24</sup>を押しながら、時計/タイマー設定ボタン<sup>30</sup>を押す。
- 2 ♣/♥ボタン<sup>26</sup>を繰り返し押し、**「SELECT」**を選び、**⊕ボタン<sup>22</sup>**を押す。
- 3 ♣/♥ボタン<sup>26</sup>を繰り返し押し、**「PLAY SEL」**を選び、**⊕ボタン<sup>22</sup>**を押す。  
タイマーの設定が表示されます。

## タイマーを中止するには

- 1 シフトボタン<sup>24</sup>を押しながら、時計/タイマー設定ボタン<sup>30</sup>を押す。
- 2 ♣/♥ボタン<sup>26</sup>を繰り返し押し、**「SELECT」**を選び、**⊕ボタン<sup>22</sup>**を押す。
- 3 ♣/♥ボタン<sup>26</sup>を繰り返し押し、**「OFF」**を選び、**⊕ボタン<sup>22</sup>**を押す。

## 設定を変更するには

再生タイマーの設定をやり直してください。

### ご注意

- 再生タイマーの音源に、オートチューニング(AUTO)またはマニュアルチューニング(MANUAL)を利用してラジオ放送局を指定した場合、再生タイマーを設定した後にラジオ局の周波数やバンド(FM/AM)を変更すると、再生タイマー起動時の周波数やバンドも変更されます。
- 再生タイマーの音源に、登録済みの放送局(プリセット番号1～20)から選択してラジオ放送局を指定した場合、再生タイマーを設定した後にラジオ局の周波数やバンド(FM/AM)を変更しても、再生タイマーには反映されません。再生タイマー設定時の放送局に固定されます。

### iPod/iPhone/iPadについてのご注意

- 再生タイマーを使用するときは、iPod/iPhone/iPadが再生されていないことを確認してください。
- お使いのiPod/iPhone/iPadの状態によっては、本機で再生タイマーを設定しても動作しない場合があります。

### ちょっと一言

再生タイマーは、手動で中止しないかぎり、タイマーの設定を保持します。

# 操作音をオン／オフする

タッチパネルを操作したときに鳴る操作音をオン／オフします。操作音の設定は本機の電源が入った状態で設定してください。  
お買い上げ時はオンに設定されています。

- 1 I/Oボタン<sup>13</sup>を押して、本機の電源を入れる。
- 2 本体の■ボタン<sup>5</sup>と音量-ボタン<sup>10</sup>を3秒以上押す。  
表示窓に「BEEP OFF」が表示されます。
  - 操作音をオンに設定する場合は、手順1、2を操作してください。

## ご注意

操作音をオンに設定している場合でも、iPodドックランプが点滅している間は、タッチパネルを操作しても操作音は鳴りません(タッチパネルの操作は有効です)。

## 使用上のご注意・ 主な仕様

### 使用上のご注意

#### 再生できるディスク

- 音楽用CD
- CD-R/CD-RW (CD-DAトラック  
またはMP3ファイルの音楽データ)

データのないCD-R/CD-RWディスクを使用しないでください。ディスクにダメージを与えるおそれがあります。

#### 再生できないディスク

- CD-ROM
- 音楽CDの規格に準拠していない形式で記録されたCD-RおよびCD-RWディスク、ISO9660 Level 1/Level 2またはJolietのフォーマットに準拠しないCD-RおよびCD-RWディスク
- マルチセッション方式で記録して、セッションクローズ処理をしていないCD-RおよびCD-RWディスク
- 記録品質の悪いCD-RおよびCD-RWディスク、傷、汚れのあるCD-RおよびCD-RWディスク、互換性のないレコーダーで記録したCD-RおよびCD-RWディスク
- 書き込み用ソフトウェアやレコーダーによる「ファイナライズ処理」が正常に終了していないCD-RおよびCD-RWディスク
- MP3形式(MPEG 1 Audio

Layer-3)以外のフォーマットのオーディオファイルが記録されたCD-RおよびCD-RWディスク

- 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- 中古ディスクやレンタルディスクで、セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの接着剤がはみ出したり、はがしたあとのあるディスク
- 盤面印刷で作成したラベルのインクが乾いていないディスク

#### CDの取り扱いかた

- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- 市販のCDレンズ用クリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

#### 設置時のご注意

- ぐらついた台の上や不安定な場所、振動する場所、ほこりの多い所、直射日光が当たる場所、湿度が高い所、湿気の多い所、風通しの悪い場所、極端に寒い所などには、本機を設置しないでください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本機を設置すると、変色、染みなどが残るこ

とがあります。

- 部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります(結露)。正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあるので、本機を使わないときは、ディスクを取り出してください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約1時間放置し、再び電源を入れ直してください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

### ACアダプターについてのご注意

- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。

### 使用時の放熱について

- 使用中、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側面、底面が熱くなることがあります。このようなときは、火傷などのけがの原因となるため、キャビネットなどに触れないでください。

### テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型ではありません。そのため、本機をテレビのそばで使うと、テレビ画面に色むらが起こります。テレビから離してお使いください。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15～30分

後に再び電源を入れてください。それでも色むらが残る場合は、本機をさらにテレビから離してください。

### お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので、使わないでください。

### 重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

# Bluetooth無線技術について

## (CMT-V70BiPのみ)

Bluetooth® 無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使いかたですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。

無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

## Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。

対応Bluetoothバージョン：

Bluetooth標準規格Ver. 2.1+EDR\*1  
準拠

対応Bluetoothプロファイル：

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)：高音質な音楽コンテンツを送受信する。

- AVRCP 1.3 (Audio Video Remote Control Profile)：再生、一時停止、停止など、AV機器を操作する。

\*1 Enhanced Data Rateの略

## ご注意

- Bluetooth機能を使うには、相手側Bluetooth機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。

## 通信有効範囲

見通し距離で約10m以内で使用してください。

以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- Bluetooth接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他の電磁波が発生している場所

## 他機器からの影響

Bluetooth機器と無線LAN (IEEE802.11b/g)は同一周波数帯 (2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機とBluetooth機器を接続するときには、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

## 他機器への影響

Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および Bluetooth 機器の電源を切ってください。

- － 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- － 自動ドアや火災報知機の近く

## ご注意

- 本機は、Bluetooth 無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティーが充分でない場合があります。Bluetooth 無線通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth 標準規格に適合していても、Bluetooth 機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続する Bluetooth 機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

# Bluetooth 機器について

## 機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

## 周波数について

本機は 2.4 GHz 帯の 2.4000 GHz から 2.4835 GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

## 本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は 2.4 GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書（裏表紙）をご覧ください。

2.4 FH1

この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、干渉距離は 10 m です。

# 故障かな？と思ったら

本機を使用中にトラブルが発生した場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてください。メッセージ一覧(52ページ)も合わせてご覧ください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

## 手順1 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。  
本書の手順の中にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

## 手順2 「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる

<http://www.sony.jp/support/netjuke/>で調べる。  
最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

## 手順3 それでもトラブルが解決しないときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

**ご相談になるときは次のことをお知らせください。**

- 型名：CMT-V70BiP/V50iP
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 故障したときに再生していた音源(ディスクやiPod/iPhone/iPadなど)：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

### スタンバイランプが点滅しているときは

すぐに電源プラグを抜いて以下の項目を確認してください。

- iPodコネクタ 17がショートしていませんか？
- 交流100V以外のコンセントに接続していませんか？

異常がなければ、再度電源プラグをコンセントにつなぎ、電源を入れてください。それでもトラブルが解決しないときは、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

## 共通

### 電源が入らない。

- 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？
- 電源コードセットがACアダプターにしっかりと差し込まれていますか？
- ACアダプターのDCプラグが本体にしっかりと差し込まれていますか？
- 付属品と異なるACアダプターを本体に接続していませんか？

### 気がつく则表示が消え、スタンバイモードになっている。

- 本機のオートスタンバイ機能によって、無操作または無音の状態が30分経過すると自動的にスタンバイモードに移行します。詳しくは、「オートスタンバイ機能について」をご覧ください(23ページ)。

### 時計設定や再生タイマーの操作が突然キャンセルされる。

- 無操作の時間が約1分経過すると、時計設定と再生タイマーの操作は自動的にキャンセルされます。始めから操作をやり直してください。

### 音が出ない。

- 音量+ボタン 10を押して音量を上げてください。
- ヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続していませんか？
- 外部入力端子に外部機器を正しく接続していますか？
- 本機のファンクションを、外部入力(AUDIO IN)に切り換えていますか？
- 一時的にラジオ局が放送を中止している場合があります。

### ブーンという音がする、ノイズがひどい。

- テレビやビデオなどのノイズの原因になりやすい機器から本機を離して設置してください。
- 電源プラグを別のコンセントに接続してみてください。
- 別売りのノイズフィルターの電源コードセットへの装着をおすすめします。ノイズが低減できる場合があります。

### リモコンで操作できない。

- リモコンと本体の間の障害物を取り除き、本体を蛍光灯から離して設置してください。
- リモコンを本体のリモコン受光部に向けてください。
- リモコンを本体に近づけて操作してください。

## ACアダプターを抜いてもスタンバイランプが点灯している。

- 本機のスタンバイランプは、ACアダプターを抜いてもすぐに消灯しない場合がありますが、故障ではありません。

## CD/MP3ディスク

---

### 表示窓に「LOCKED」が表示され、ディスクスロットからディスクを取り出せない。

- お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

### ディスクをディスクスロットに挿入できない。

- 本機の電源は入っていますか？  
本機の電源を入れた直後は、表示窓に「NO DISC」が表示されるまでディスクを挿入しないでください。「NO DISC」が表示されてからディスクを挿入してください。

### ディスクやファイルを再生できない。

- 「ファイナライズ処理」が行われていないディスク（書き込み済みのCD-RやCD-RWで、さらに書き込みが可能な状態のディスクは再生できません。）

### 音飛びする、再生が始まらない。

- ディスクが汚れている、またはディスクに傷がついている。汚れの場合は、拭き取ってください。
- 振動のない場所（安定した台の上など）に本機を設置してください。

### 再生が1曲目から始まらない。

- シャッフル再生、またはプログラム再生になっていないか確認してく

ださい。停止中に再生モードボタン<sup>21</sup>を繰り返し押すと、表示窓の「PGM」または「SHUF」が消え、ノーマル再生に戻すことができます。

### 再生が始まるまでに時間がかかる。

- 次のような場合、ディスクの再生が始まるまでにしばらく時間がかかることがあります。
  - ディスク上のファイル構造が極端に複雑になっている。
  - マルチセッション形式で記録したディスク
  - フォルダ数が多いディスク

## iPod/iPhone/iPad

---

### iPod/iPhone/iPadを再生できない。

- iPod/iPhone/iPadがiPodコネクター<sup>17</sup>に正しく接続されているかどうか確認してください。
- iPod/iPhone/iPadを再生している場合は、再生を停止してから本機に接続してください。
- iPod/iPhone/iPadが最新のソフトウェアに更新されているかどうか確認してください。
- 音量+ボタン<sup>10</sup>を押して音量を上げてください。

### 音が歪む。

- iPod/iPhone/iPadがiPodコネクター<sup>17</sup>に正しく接続されているかどうか確認してください。
- 音量-ボタン<sup>10</sup>を押して音量を下げてください。
- iPod/iPhone/iPadのイコライザ設定を「Off（オフ）」または「Flat（フラット）」にしてください。

## iPod/iPhone/iPadが動作しない

- iPod/iPhone/iPadで起動中のすべてのiOSアプリケーションを終了してください。詳しくは、お使いのiPod/iPhone/iPadに付属されている取扱説明書をご覧ください。
- iPod/iPhone/iPadがiPodコネクター 17に正しく接続されているかどうか確認してください。
- iPod/iPhone/iPadが最新のソフトウェアに更新されているかどうか確認してください。
- 本機のリモコンや本体の操作ボタンを使ってiPod/iPhone/iPadを操作できない場合があります。その場合は、iPod/iPhone/iPadの操作ボタンを使って操作してください。

## iPod/iPhone/iPadが充電されない。

- iPod/iPhone/iPadがiPodコネクター 17に正しく接続されているかどうか確認してください。
- お使いのiPod/iPhone/iPadが本機に対応しているかどうか確認してください(29ページ)。
- 本機の電源がオフの状態ではiPod/iPhone/iPadを充電している場合、表示切替ボタン28を押すと、本機はiPod/iPhone/iPadの充電を中止します。iPod/iPhone/iPadを再び充電するには、本機の電源がオフの状態ではiPod/iPhone/iPadを接続し直してください。

## iPhoneの着信音量を変更できない。

- お使いのiPhoneで着信音量を調節してください。

## ラジオ

### 雑音が入る(「TUNED」や「STEREO」が点滅する)、または放送が受信できない。

- アンテナを正しく接続してください。
- 受信状態のよい場所や方向を探し、アンテナを設置し直してください。
- アンテナを本体や他のAV機器から離してください。
- 本機の近くにある電気器具の電源を切ってください。

### 複数の放送局が同時に聞こえる場合。

- アンテナの場所や方向を調整してアンテナを設置し直してください。
- アンテナを(コードクリップなどを使って)束ね、長さを調整してください。

## お買い上げ時の状態にリセットするには

「故障かな?と思ったら」の該当項目をチェックしても正常に動作しない場合は、次の手順で本機をお買い上げ時の状態にリセットしてください。本体のボタンを使ってリセットを行います。

- 1 電源プラグをコンセントから抜き、再度接続して、電源を入れる。
- 2 ■ボタン5と本体のI/Oボタン13を「RESET」が表示されるまで押し続ける。

ラジオ局のプリセット設定や時計、タイマーなどの設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。リセットを行ってもまだ正常に動作しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

# メッセージ一覧

本機の使用中に、次のようなメッセージが表示、または点滅することがあります。

## CAN'T PLAY

CD-ROMやDVDディスクなど、再生できないディスクを挿入した。

## CHARGING

電源がオフの状態でもiPod/iPhone/iPadを充電しているときに表示されます。

## COMPLETE

FM/AM局のプリセット登録が正常に完了した。

## CONNECT

接続したiPod/iPhone/iPadを認識中です。

## FULL

プログラム登録中に26曲目を登録しようとした。

## LOCKED

ディスクスロットがロックされ、ディスクが取り出せない。ソニーの相談窓口にご相談ください。

## NO DISC

ディスクが入っていない、または本機では再生できないディスクをセットした。

## NO STEP

プログラムが登録されていない。

## NO SUPPORT

本機が対応していないiPod/iPhone/iPadを接続した。

## NO TRACK

ディスクに本機で再生できるファイルが入っていない。

## NOT USED

使用できないボタンを押した。

## PUSH STOP

再生中に再生モードボタン $\square$ を押した。

## READING

ディスクの情報を読み込んでいる。このとき、いくつかのボタンは操作できなくなります。

## TIMING

再生タイマーの設定で、開始時刻と終了時刻を同じに設定した。

# 保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

### それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口やお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社ではマイクロハイファイコンポーネントシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

## 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

# 主な仕様

## アンプ部

### 実用最大出力

20 W + 20 W (8Ω、JEITA\*)

## 入・出力端子

### 外部入力端子

ステレオミニジャック700 mV  
(47 kΩ)

### Ⓜ (ヘッドホン)端子

ステレオミニジャック8Ω以上

### iPod接続端子

DC 5V, 2.1 A

## CDプレーヤー部

### 形式

コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

### 周波数特性

20 Hz ~ 20 kHz

### S/N比

90 dB以上

### ダイナミックレンジ

90 dB以上

## チューナー部

### 回路方式

FM/AMチューナー、スーパーヘテロダイナ方式

### 受信周波数

FM : 76.0 MHz ~ 90.0 MHz  
(100 kHzステップ)  
AM : 531 kHz ~ 1,602 kHz  
(9 kHzステップ)

### アンテナ端子

FMアンテナ、AMループアンテナ一体型

## スピーカー部

### 形式

フルレンジスピーカー : 65 mm  
コーン型  
パッシブブラジエーター : 67 mm  
× 108 mm

### 定格インピーダンス

8 Ω

## その他

### 電源(ACアダプター)

入力 : AC 100 V - 240 V,  
50 Hz/60 Hz  
出力 : DC 19.5 V 3.9 A

ACアダプターは「JIS C 61000-3-2適合品」です。

### 消費電力

35 W (通常動作時(JEITA\*))

### 最大外形寸法(幅×高さ×奥行き、最大突起部含む)

約 449 mm × 212 mm ×  
137 (95) mm

### 質量

約 2.8 kg

\* JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

## Bluetooth部(CMT-V70BiPのみ)

### 通信方式

Bluetooth標準規格Ver.2.1 +  
EDR<sup>1</sup>

### 出力

Bluetooth標準規格Power  
Class 2

### 最大通信距離

見通し距離約10 m<sup>\*2</sup>

### 使用周波数帯域

2.4 GHz 帯 (2.4000 GHz ~  
2.4835 GHz)

## 変調方式

FHSS

## 対応Bluetoothプロファイル<sup>\*3</sup>

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP1.3 (Audio Video Remote Control Profile)

## 対応コーデック<sup>\*4</sup>

SBC<sup>\*5</sup>

## 対応コンテンツ保護

SCMS-T方式

## 伝送帯域(A2DP)

20 Hz ~ 20,000 Hz ( 44.1 kHz サンプルング時)

<sup>\*1</sup> Enhanced Data Rate の略

<sup>\*2</sup> 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

<sup>\*3</sup> Bluetooth プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

<sup>\*4</sup> 音声圧縮変換方式のこと

<sup>\*5</sup> Subband Codec の略

## 付属品

リモコン(RM-AMU157またはRM-AMU158)(1) / リモコン用単3形(R6)乾電池(2) / ACアダプター (1) / 電源コードセット(1) / FM・AMアンテナ(1) / 保護クッション(2) / 取扱説明書(本書)(1) / ソニーご相談窓口のご案内(1) / 保証書(1) / ユーザー登録カード(1) / 本機の使用上の注意事項(CMT-V70BiPのみ)(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

待機時消費電力：0.5W
--------------



省資源

省エネ：オートスタンバイ機能搭載  
省資源：包装体積40%削減(2010年度当社従来モデルNAS-V5/V7M比)  
重量20%削減(2010年度当社従来モデルNAS-V5/V7M比)

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは  
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

**使い方相談窓口**

フリーダイヤル.....0120-333-020  
携帯電話・PHS・一部のIP電話..0466-31-2511

**修理相談窓口**

フリーダイヤル.....0120-222-330  
携帯電話・PHS・一部のIP電話..0466-31-2531  
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、  
最初のガイダンスが  
流れている間に

**「306」+「#」**

を押してください。  
直接、担当窓口へ  
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Made for

iPod iPhone iPad



**S-master**  
Digital Amplifier



\* 4 4 1 8 7 1 1 0 1 \* (1)